

睡眠薬の処方提案により睡眠状況が改善した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、他職種から睡眠薬の相談があり、処方提案および服薬指導を実施することで、睡眠状況が改善し薬物治療効果の向上に寄与できたプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

▶原疾患の治療目的で入院された患者

【持参薬（一部抜粋）】
トラゾドン錠 50mg 1回1錠 頓用



Fさん

多職種カンファレンス



多職種カンファレンス
(医師・看護師・薬剤師)

Fさんですが、夜間の中途覚醒が多く熟睡感がないようです。また、前医からの継続でトラゾドン錠を使用していますが、依存性について不安があり、本人があまり服用されたくないようです。薬剤師さん、睡眠薬についてご意見ありますか。

睡眠状況の改善のため、トラゾドンを中止し、睡眠薬としてベルソムラ錠とラメルテオン錠を追加するのはいかがでしょうか。依存性について不安があるようですので、必要でしたら、睡眠薬についてFさんに説明いたします。

それではトラゾドンを中止し、睡眠薬としてベルソムラ錠とラメルテオン錠を追加しましょう。説明についてもお願いします。



薬剤師

その後、Fさんに睡眠薬の変更、依存性に関する薬剤指導を実施し、ベルソムラ錠 20mg とラメルテオン錠 8mg の服用が開始となった。



Fさん

Fさん、睡眠の状況はいかがですか。

今までで一番眠れました。眠れないときは飲むようにします。ありがとうございます。



薬剤師

その後、睡眠状況は改善し、入院中ベルソムラ錠とラメルテオン錠の内服を継続された。他職種から睡眠薬の相談があり、薬剤の中止や追加を提案することで、薬物治療効果の向上に寄与できた。